プレスリリース

令和８年 11 月 11 日
農　林　水　産　部

報道関係者　各位

令和８年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞受賞者の決定及び表彰式の開催について

このことについて、下記のとおり受賞者を決定し、表彰式を開催しますので、取材くださるようお願いします。

なお、各賞の概要及び各受賞者の概要等については、別添のとおりです。

記

１　本年度の受賞者

（１）大高根農場記念山形県農業賞（４名）

折原　敬一　氏　　（尾花沢市）
押野　和幸　氏　　（天童市）
佐藤　喜代志　氏　　（新庄市）
渡部　長和　氏　　（鶴岡市）

（２）川村造林記念山形県林業賞（１名）

五十嵐　正直　氏　　（鶴岡市）

（３）山形県水産業賞（１名）

佐藤　正明　氏　　（鶴岡市）

２　表彰式

日　時　　令和８年 11 月 24 日(火)　午後３時 30 分から
場　所　　ホテルメトロポリタン山形　「霞城」
（山形市香澄町一丁目１番１号）

【問合せ先】
農林水産部農政企画課
総務専門員　高宮（TEL：023-630-2420）
［広報監］　農林水産部次長　小泉

別　添

山形県農業賞・林業賞・水産業賞について

大高根農場記念山形県農業賞

山形県自治講習所に大正９年に設置された「大高根農場」周辺農地が、昭和 34 年に自衛隊用地として国に譲渡された土地代金の一部を基金とし、本県農業の振興発展に寄与した者を表彰したのが始まり。昭和 55 年からは、県の表彰規則に基づく県知事表彰として表彰している。

本県農業の振興発展に尽した功績が顕著で、かつ、他の模範とされる農業者、農業団体等を表彰し、もって本県農業の振興発展に寄与することを目的とする。

（昭和 34 年以降、令和７年までの受賞者は、200 個人、26 団体）

川村造林記念山形県林業賞

本県の第 23 代知事川村貞四郎氏から県に寄贈された山林を基金として、本県の民有林林業の振興発展に貢献した個人、又は団体を表彰するため、昭和 39 年に創設された。

本県の林業・木材産業及び山村の振興において、積極的かつ計画的な活動等により、他の模範となる功績のあった個人又は団体を表彰し、もって本県民有林林業の振興に寄与することを目的とする。

（昭和 40 年以降、令和７年までの受賞者は、69 個人、49 団体）

山形県水産業賞

長年にわたり水産業に精励し、経営改善や水産物の付加価値向上、技術開発等に功績があった個人や団体、水産業関係団体の指導的立場にあり、他の水産業者の模範となる功績があった個人や団体を表彰するものとして、昭和 54 年に創設された。

本県水産業の発展について顕著な功績のあった個人や団体を表彰し、もって本県水産業の振興に寄与することを目的とする。

（昭和 54 年以降、令和７年までの受賞者は、49 個人、10 団体）

令和８年度 受賞者の概要（敬称略）

※年齢は、表彰式（令和８年 11 月 24 日）時点の年齢

大高根農場記念山形県農業賞

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
1	おりはら　けいいち **折原　敬一**	73	尾花沢市	昭和 48 年～平成 20 年 尾花沢市農業協同組合・みちのく村山農業協同組合職員 平成 20 年～平成 29 年 みちのく村山農業協同組合代表理事専務 平成 29 年～令和３年 みちのく村山農業協同組合代表理事組合長 令和３年～令和８年 山形県農業協同組合中央会代表理事会長・みちのく村山農業協同組合会長理事 令和５年～令和８年 全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長 ・平成 20 年から、みちのく村山農業協同組合の代表理事専務、代表理事組合長として長きにわたり地域農業の発展に貢献。この間、地域の農畜産物であるすいか、肉用牛等の産地ブランドの全国的な知名度を向上させ、地域農業の振興と農家所得の向上に貢献した。 ・令和３年からは、ＪＡグループ山形の共通会長として、老朽化した共同利用施設の更新に向け尽力するなど、地域農業の生産基盤の維持に向け強い指導力を発揮するとともに、令和６年の豪雨をはじめとした気象災害について、現場目線に立った支援策をいち早く展開し、生産者の営農再開・継続に尽力した。また、パートナー企業と連携し、農繁期の労働力確保に尽力した。さらに、会長トップセールス等の実施により、県産農畜産物のオール山形での販売促進に努めるとともに、新品種「やまがた紅王」のブランド化や付加価値向上に向け取組みを進めた。 ・全国農業協同組合連合会経営管理委員会会長として、主食用米の安定供給に向け、米流通の円滑化に尽力するなど、持続可能な農業経営の発展に向け主導的な役割を担った。

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
2	おしの　かずゆき **押野　和幸**	62	天童市	昭和 57 年～現在 　農業に従事 平成 24 年～現在 　天童市高擶地区特別栽培米生産組合長 平成 28 年～現在 　山形県指導農業士 令和７年～現在 　山形県指導農業士会会長 平成 28 年～令和６年 　天童市三郷堰土地改良区理事 平成 30 年～現在 　株式会社おしの農場代表 ・高擶地区を中心に農地の利用集積を進め、地域の農家から農地を借用することで耕作放棄地の増加を防ぎ、借り受けた農地の維持管理に取り組むことで、地域の持続可能な農業生産に貢献している。 ・「ほ場生産管理システム」と「栽培管理支援システム」を全国に先んじて導入し、スマート農業技術活用促進法に基づく「生産方式革新実施計画」の全国第 1 号の認定者となった。また、システムから得られた各ほ場の地力や収量などの栽培データを、産地内の農家と共有し、産地としてこれらのデータをもとに生育状況などの分析を行い、その結果を翌年度以降の施肥計画などに反映させ、地域の生産性向上に貢献した。 ・従来、土地利用型作物の管理は力仕事が多く、女性の参画は限定的であったが、スマート農業技術や高性能機械を先んじて導入し、作業の軽労化・効率化を進めることで女性が農業現場および経営面で活躍できる環境づくりに取り組んでいる。女性農業者が大型農業機械を操作する姿は、近隣の農家にも意識の変化をもたらしており、地域の農業に新たな可能性を示している。 ・経営の中心である水稲栽培において、環境負荷の低減にも配慮した農業の実践に努めており、「つや姫」では減農薬・減化学肥料栽培に取り組んでいる。さらに、温室効果ガスの削減を目的とした中干し期間の延長に取り組み、J-クレジットの認証を取得している。加えて、畜産農家との連携による耕畜連携を推進しており、飼料用米を天童市内の肉用牛農家および養豚農家へ全量出荷し、これらの農家から堆肥の供給を受けることで、地域の資源循環型農業を実現し、農業生産基盤の維持・強化に努めている。

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
3	さとう　きよし **佐藤 喜代志**	77	新庄市	昭和 43 年～令和６年 　農業に従事 平成２年～令和８年 　新庄市農業委員会委員 平成 17 年～令和８年 　新庄土地改良区理事長 平成 26 年～令和８年 　山形県土地改良事業団体連合会副会長 ・平成 17 年に新庄市土地改良区理事長に就任。地域農業発展のための生産基盤整備、担い手の育成並びに担い手への面的農地集積、周年型農業確立の重要性を唱え、農業農村整備事業の推進や大豆・そばなどの土地利用型作物への転換に尽力した。また、国営新庄農業水利施設を活用した新庄市消雪用水事業の本格通水に着手、東日本大震災後に営農に支障が出ない範囲で通水量を抑制し揚水機場等における節電を行うなど、土地改良事業を通じ、今日の新庄市の農業発展の礎を築くとともに地域に貢献した。 ・山形県土地改良事業団体連合会副会長として、農地中間管理機構との連携による担い手への農地集積・集約化の推進に向け、国や県等に対し積極的に提案・要望を行い、生産基盤整備を強力にけん引。また、農業用水利施設を活用した小水力発電の導入・普及に先頭に立って取り組み、理事長を務める新庄土地改良区においては令和５年度より発電を開始した。再生可能エネルギーの地産地消と土地改良区の維持管理費の軽減及び経営安定化に大きく寄与している。

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
4	わたなべ　たけかず **渡部　長和**	76	鶴岡市	昭和 44 年～現在 　農業に従事 平成 29 年～令和５年 　鶴岡市農業委員会会長農業委員会庄内地方協議会副会長 平成 30 年～令和５年 　一般社団法人山形県農業会議理事 ・平成８年に旧朝日村の農業委員に就任。平成 29 年から鶴岡市農業委員会会長に就任し、農地利用の最適化を目指して推進体制を構築し、会長就任から６年間で、担い手への農地集積率 76.9%、遊休農地解消面積 73.7ha の実績を上げるなど、農地利用の最適化に貢献した。 ・令和２年に開校した鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)に対しては、支援団体の一つとして農業委員会内の担い手専門委員会を中心に、地域や栽培作物ごとに助言・意見交換の場を創出し地元農業者との連携を通じた定着に務めるなど、新規就農者支援に貢献した。 ・農業委員・農地利用推進委員会の委員への女性の推薦を地区の農業関係団体に働きかけるなど、女性委員の登用に尽力。また、女性農業者のワークショップを開催することで、世代を超えた女性農業者のネットワークを創出するなど、女性農業者の意見の農業施策への反映に尽力した。

川村造林記念山形県林業賞

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
1	いがらし　まさなお **五十嵐　正直**	77	鶴岡市	平成 26 年～平成 31 年 　木野俣生産森林組合長 平成 27 年～令和５年 　鶴岡市生産森林組合連絡協議会会長 平成 27 年～令和２年 　温海町森林組合理事 令和２年～令和５年 　温海町森林組合代表理事組合長 平成 26 年～平成 31 年 　木野俣自治会長 ・森林施業の集約化・共同施業を積極的に推進することで森林施業の効率化を図り、森林整備の推進と森林所有者の所得の向上に貢献するなど他の模範となった。 ・地域の森林を活用したワラビ栽培や山菜の採取・販売に取り組み、森林所有者の所得向上と特用林産物の需要拡大に貢献した。 ・木野俣自治会長在任中は、地域おこし協力隊を積極的に受け入れ、地域資源である木野俣獅子踊（鶴岡市指定無形民俗文化財）や伝統野菜「温海かぶ」を活用しながら、地域住民の所得向上や関係人口の創出など山村振興に取り組んだ。

山形県水産業賞

番号	ふりがな 受賞者氏名	年齢	住所	主要経歴等
1	さとう　せいめい **佐藤　正明**	78	鶴岡市	昭和62年５月～平成14年３月 　鼠ヶ関港振興促進会　参与 平成13年10月～平成17年９月 　温海町長 平成14年４月～令和４年３月 　鼠ヶ関港振興促進会　会長 平成19年４月～平成21年10月 　鶴岡市副市長 平成25年４月～令和７年６月 　公益財団法人山形県水産振興協会　理事長 令和４年４月～ 　鼠ヶ関港振興促進会　顧問 ・鼠ヶ関港振興促進会会長として、鼠ヶ関港の港湾施設整備事業や早田・小岩川両漁港の防波堤局部改良事業などの推進に尽力した。 ・公益財団法人水産振興協会理事長として、効率的かつ適正な協会運営の推進により経営を黒字化させたほか、水産種苗の安定供給や栽培漁業の推進、水産資源の増殖などに取り組み本県水産業の振興・発展に多大に貢献した。 ・温海町長及び鶴岡市副市長として、漁業振興に貢献した。